千曲市屋代駅市民ギャラリー条例改正骨子案
に関するパブリックコメントの結果について

総合政策課

１．実施期間　　令和７年３月 18 日（火）から４月 17 日(木)

２．応募者　　４名

３．意見数　　８件

４．意見内容と回答

◆4 月 14 日　（1 名、1 件）

No.	意　見	回　答（案）
1	高校生バンド、屋代高校ギタマン、ダンス部、地方アーティスト、若者アーティストの活動も受け入れて来た中で、まちなかでの音楽活動の重要性を認識してきました。今後も週末を中心に音楽イベントの開催ができるようにして頂けるとありがたいです。 (付け足し) 地域活性化、市民の満足度向上を目的に、ウェルカムステーションとの連携、地元ブランド PR、姉妹都市特産物の販売、家電展示会、書店コラボ、地元酒店試飲会、キッチンカーの提供など、駅からの動線上で自然と立ち寄れる仕組み作りも出来る環境をお願いします。	令和５年度に実施しました、地元関係者（利用者、商工団体、地元商店街、地元中高生）を対象とした意向調査では、文化振興以外への貸出の拡大、飲食可能なフリースペース等、多くのご意見を頂きました。 ご提案の内容は、音楽イベントのみならず、様々な団体等との連携により開催するイベント等でありますが、新たな活用策については、設置目的及び名称の由来のとおり、「子ども若者の支援」「若者の居場所づくり」を優先させながら、ご提案頂いた地域活性化等への活用についても検討してまいります。

◆4 月 17 日　（３名、７件）

No.	意　見	回　答　（案）
2	これまでに、何度かギャラリー内、駅前広場で開催されている音楽イベントは音が大きく、未就学児を帯同する親としては近寄ることに抵抗がありました。出演者や来場者が駅前で喫煙している姿も見られます。 4.(5)にある「子どもや若者の支援に関する催し」に限定するのであればより一層、出演団体及び催行内容について精査するようお願いいたします。	前文のご指摘につきましては、関係者に伝え、周囲に配慮するよう促してまいります。 新たな活用策では、出演団体及び未就学児から若者が安心・安全に利用できようなルールづくりに心掛けてまいります。
3	4.(1)にある「支援」の例として、子育て支援センターの催し、支援センターが出張して子どもが遊ぶスペースの設置や図書館の絵本の読み聞かせがあったら利用したいと思っています。市としても積極的な利活用に期待しています。	新たな活用策では「学習スペースの確保」も設置目的となっており、平日・土日問わず利用される学生への事前周知も必要となりますので、ご意見も踏まえ、子育て支援センターや更埴図書館と検討してまいります。

4	4.(1)の2つの目的を両立するために座席数が増える（ベンチタイプの椅子も含む）とより使いやすいと感じます。 　昨年夏に友人と一緒に未就学児4名を連れて駅までお散歩に行きました。駅前の自販機でアイスを購入してギャラリー内で涼みながら食べたり、時々電車を見たりと有意義に過ごせたので今後も開放されることをありがたく思います。	座席数につきましては、利用状況を踏まえ検討してまいります。
5	学習スペースとしての利用を目的とするのであれば、4.(3)の開館時間は図書館と同様に閉館を18時、または19時までにして部活帰りの高校生のニーズにも広く対応できる設定が望ましいと感じます。冬期と夏期で開館時間を分けても良いかと思います。	現在の開館時間は、9時から17時までとなっており緊急時の対応等の管理上の問題で17時までとなっておりますが、今後の利用状況を踏まえながら開館時間について検討してまいります。
6	4.(4)では通年開催とありますが、学校も休業に入り、子どもや若者を対象とした場所なのであれば年末年始も開館するニーズが本当にあるのか再考が必要ではないかと思います。（管理する方が大変になってしまうのではと心配の意です。）	若者には高校や大学受験生も該当しておりますので、受験生にも当該施設の活用について広く周知するとともに、年末年始の利用状況も踏まえながら当該期間の必要性について検討してまいります。
7	4.「子どもや若者の支援」及び「学習スペースの確保」を図る。に対して、行政側が子どもや若者に第3の居場所＝フリースペースを提供することは非常に意義のあることと歓迎します。現状施設内にはテーブルとイス以外の設置はありませんが、常設で何らかの子どもたちに自由に利用可能な有効な物品の提供があれば更に良いのではないかと考えます。たとえば「図書コーナー」の提供があれば子どもたちが無料で読書を楽しむことができ、貧困家庭や不登校の子どもたちの支援にもなるのではないでしょうか。元々、市民ギャラリーは図書業務も担っていました。一方、近年未成年者の自殺数は増加しており、図書館は居場所のない追い詰められた子どもたちの“シェルター”としての機能を期待されています。人員の配置は難しいと思いますが、管理負担の少ない市民からの寄贈図書や古くなった児童館、若者向けライトノベルなどのリユース本を常設する図書コーナーがあれば、施設に足を運んでみたいという動機付けになるかもしれません。本来、図書館が担うべき役割ですが、<u>この施設は昨年度より飲食可能という方針なので図書館では出来ない活用が可能です。</u>新たな「ユーステーション」が若者により気軽に利用できる施設になるためのテストケースにもなると考えます。図書館とも協議・連携してご一考を賜れれば幸いです。	「図書コーナー」の設置につきまして、ご意見も踏まえ、図書館とも連携しながら、子どもから若者が気軽に利用できる施設として検討してまいります。

8	4.(1)設置の目的 1.若者や学習場所としての活用に大賛成!! ただ、youth（若者）だが、気持ちが若い人なら誰でも良いのではないか？→条件（例） 「若々しく前向きに活用を考えている人達」 2.行政や社協などでボランティア登録した方による助言や相談が受けられる!!誰でもできるとは思えないので、接遇講習（1～2）時間？）を受講して、許可を受けた者が、名札など証明を提示して対応できるのは、どうか？ ※ガレリアなど同等の場所でも使用可能	youth（若者）の定義、ボランティア登録者による助言や相談の場所のご提案につきまして、ご意見として承り、今後、検討の参考とさせたいただきます。
9	4.(3)開館時間 ガレリアの状況を見ても、開館が17時というのは短過ぎで、市長は所轄しているが、申出許可というのは、活用の幅を狭めてしまうので除いてほしい。 →ガレリアと同等もしくは、しなの鉄道の営業時間、前後30分で良いのでは？ ・・・鉄道の利用者も重んじたほうが良く、早朝と深夜は待ち合わせなどで、居場所がないほうが不安で危険だと思う。	開館時間につきましては、№5の回答のとおりとさせていただきますが、催し等で活用する場合においては、市長の承諾を得て、所管課との協議が充分整ったうえで変更できるように検討してまいります。 なお、しなの鉄道利用者への対応につきましては、ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
10	4.(5)施設の貸出／(6)使用料 設置の目的と重複するが「若々しい全世代」が活用可能で、特に子育てや若者支援に関する支援を「優先する」としたほうが適切だと感じる。 ※例えば、優先の基準は「主催者側でなく参加者側」とする、など・・・ ※提示された金額は妥当だと思うが、「600円／半日」が、より良いのでは？	施設の貸出につきましては、回答№8youth（若者）の定義にも関連いたしますが、ご意見として承り、今後の検討とさせていただきます。 また、使用料につきましては、新たな活用案のとおり 1,200 円／日とさせていただきますが、利用状況を踏まえ検討してまいります。